

競技上の注意

第56回全日本社会人卓球選手権大会広島県予選

審判長 竹中 正樹

1. 適用ルールについて

- ・本大会は現行の日本卓球ルールを適用する。
- ・すべて、5ゲームズマッチで行う。
- ・セットごとのコートチェンジは行ってください。
- ・タイムアウトはダブルスの決勝、シングルの準決勝、決勝、3位決定戦のみに適用する。
- ・促進ルールは適用しますので、予想される場合は事前に審判長まで連絡ください。

2. 競技領域への立ち入り制限とアドバイザー

- ・競技フロア内に入れるのは、選手と審判のみとしてアドバイザーは認めない。
- ・帯同者はフロアには入れません。観覧席で応援ください。

3. 用具について

- ・ボールは JTTA 公認プラスチック球 40 mm ホワイト (TSP・ニッタク・バタフライ) を使用する。コートにはニッタク球を配備し、TSP球・バタフライ球は本部に置く。
- ・外国製ラケットで JTTAA のマークのないものを使用する場合は、あらかじめ審判長に使用許可を受けること。
- ・接着剤を含むラバーの厚さが 4mm を超えるものは使用できない。また、ラバー表面の平坦性が損なわれていたり、物理的処理や化学的処理が施されていたりしてはならない。

4. ラケット検査について

- ・いくつかの試合についてマッチの前にラケット検査を行う。マッチ前の検査において違反と判断されたラケットは大会終了まで審判長が保管する。

5. 服装について

- ・ダブルスにおいては、ユニフォームはそろえること。但し、ショーツ、スカートについては同系色のものであれば着用できる。
- ・ゼッケンは 2022 年度の日本卓球協会指定のものを着用すること。

6. 表彰について

- ・本大会は予選会なので、表彰はありません。本大会出場権を得た方は、本部で資料を受け取り、持ち帰って後日手続きを行うこと。

7. 審判について

- ・敗者審判とする。ただしトーナメントの最初は本部から指名するのでご協力お願いします。

8. その他

- ・(公財) 日本卓球協会感染対策ガイドラインを遵守すること。
特に次の点には気を付けること
 - 1) 試合前の練習および試合中以外はマスク着用のこと
 - 2) 卓球台の上やシューズの裏で手を拭かない
 - 3) 大きな声を出さない
 - 4) タオルは共有物である卓球台やフェンスに掛けないこと。各人のビニール袋に入れて台の下に置き、ルールで定められたタイミングで使用してください

以上